

## 兵庫県保険医協会

### 評議員・予備評議員(医科)選挙の公示

理事長 池内 春樹

協会規約第12条の2及び(細則)協会役員等の選出規定の第3条の2および第9条の1により、評議員・予備評議員(医科)選挙の告示を行います。

#### 【役職と定数】

評議員 25名 予備評議員 13名

兵庫県保険医協会規約 第18条

「評議員は、各支部または歯科部会を代表し、会員の意見を評議員会に反映するとともに、本会の方針に沿い、各支部または歯科部会の活動の中心となる。予備評議員は、評議員を補佐するとともに、評議員会に評議員欠席の際には評議員として出席する」

#### 【任期】2年

【改選日時】 7月25日(木)支部幹事会で選出

10月19日(土)支部総会で承認

【立候補日時締切】7月18日(木) 正午

#### 【立候補届出の方法】

立候補希望者・推薦希望者(医科)は、協会事務局までお申し出ください。用紙をお届けします。「立候補届」「推薦届」に必要事項を記入の上、事務局へ持参または郵送ください。なお、歯科については歯科部会で選出します。

## 協会の共済制度をお勧めします!

病気やケガの休業に備えて、高い保険料を払っていませんか?

### 休業保障制度 次回受付 8月1日開始

- |                   |                          |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 最長730日の長期保障    | 5. うつ病等の精神疾患、認知症も給付      |
| 2. 自宅療養、代診をおいても給付 | 6. 妊娠・出産に起因する併発病、帝王切開も給付 |
| 3. 掛金は満期まで上がりません  | 7. 弔慰・高度障害給付あり           |
| 4. 掛け捨てではありません    | 8. 所得補償保険との重複受給OK        |

休業保障制度は、保険医協会会員のための助け合い共済制度です。



ご家族、スタッフも  
加入いただけます

### 所得補償保険

精神疾患による就業不能も補償  
/入院は初日から、自宅療養は  
5日目から補償 / 通算1000日  
補償 / 天災によるケガも補償

団体定期  
生命保険

## グループ保険

- 過去5年平均47%配当
- 加入者数5000人
- 断然安い保険料

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805

## 兵庫県保険医協会

260号 2013年6月25日

# 神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

### 職員接遇研修会感想文

## クレームから学ぶ姿勢忘れずに

神戸支部は4月20日と5月18日に職員接遇研修会を開催。4月は「接遇の基本とクレーム対応」をテーマに大手前短期大学准教授の水原道子氏が講演し76人が参加、5月は「ピンチをチャンスに!~クレーム対応の実践編~」をテーマにマネジメントコンサルタントの松田幸子氏が講演し61人が参加した。参加者の感想文を紹介する。



クレーム対応を中心に医療機関での接遇の基本を学習した



今回の研修内容で私が印象に残ったのは、テーマにもあげられていた「ピンチをチャンスに!」という言葉でした。私も実際に病院で働いていて、クレーム対応に困ったことが何度かありました。適切な対応ができず何もできないまま終わってしまうこともありました。そのため、今回のテーマについて少なからず興味を持って講習会に参加することができました。

講習会の内容の中で私が特に興味深かったのが「クレーム」そのものの本来

の意味についてでした。クレームと聞くと良い印象はありません。しかし見方を変えるだけでクレームは貴重な情報源となり、その情報源が病院側にとって改善点をみつける手掛かりにもなります。また、改善点をみつけることで病院全体の力になっていくと感じました。

今までのクレームの印象はなくして、クレームから学ぶという姿勢を忘れずに、講習会の内容を活かしてピンチをチャンスに変えていけたらと思います。

【西区・木下内科クリニック 職員】

## 第83回評議員会

# 医療・社会保障を守り、拡充させよう



102人が参加し、記念講演では日本経済の実態と政策の問題点などを学んだ(上)  
藤末評議員(東灘区)が発言し、憲法を守る地域での取り組みを呼びかけた(右)



協会は5月19日に第53回評議員会を開催し理事・評議員など102人が参加した。総会に提案する2012年度会務報告と2013年度の活動方針・予算案を承認し、診療報酬改善や社会保障制度改革推進法、消費税増税法を実施しないこと、TPP交渉参加や県立こども病院のポートアイランド移転の中止などの要求を決議した。また、今後の協会活動を担う新たな役員を選出した。

記念講演では「アベノミクスで国民は豊になるか」をテーマに、日本金融財政研究所所長の菊池英博氏が講演。「アベノ

ミクス」による大胆な金融緩和も実需が追い付いていないため、投機資金にしかない」と批判。公共投資の必要性を強調するとともに、雇用の確保などを重視しなければならないと指摘した。

発言では医療・社会保障にかかわるトピックや支部の多彩な活動などを活発に交流。神戸支部からは藤末衛評議員が発言し、憲法9条と25条を守り、発展させる取り組みを地域からつくる重要性を指摘した。(兵庫保険医新聞6月15日付に詳報)。

### 支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。  
日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。



電話 078-393-1817/FAX 078-393-1802 e-mail ntm@doc-net.or.jp 担当; 納富まで

## 健康と医療について語り合う会

# 歯周病 ー毎日のケアを大切にー

神戸支部は5月23日、兵庫手話通訳問題研究会・兵庫県聴覚障害協会主催「いのちを考える会」に、「健康と医療を考える会」として講師を派遣。中央区・おおかど歯科医院の大角俊夫先生が歯周病について講演した。聴覚障害者やその家族、手話通訳者ら23人が参加。講演前には、同会に参加する歯科衛生士がブラッシングの仕方について解説した。

大角先生は、手話通訳者を介しながら、自身もホワイトボードで図や用語を書いて、ていねいに講演。歯周病は大人の8割がかかっている病気で、昔「歯槽膿漏」と呼ばれていたと述べ、歯肉が炎症を起こし、歯や骨が溶けてしまう感染症で、自然治癒はできず放っておくと進行し続けると歯周病の概要を説明した。

治療には、基本のブラッシングに加え、口腔内の菌を減らす歯周内科的治療や乳酸菌を増やす「バクテリアセラピー」、唾液を増やすために舌や口唇をトレーニングする「オーラルフィットネス」が有効であると述べ、「歯周病予防は、自分です



大角俊夫先生(中央区・おおかど歯科医院)が講演

るしかない。歯科ができるのは、そのサポート」と日常的なケアの大切さを強調した。そして、頬をふくらませたり舌を出す「オーラルフィットネス」を実際にやってみせ、参加者とともに練習した。

参加した聴覚障害者からは、「歯や歯ぐきを丈夫にするにはどうしたらいいのか」「歯医者で治療したが痛かった。やさしい治療はできないのか」「抗がん剤を服用した知り合いが、歯周病の歯を全部抜いた。抜かないで抗がん剤打てないのか」などと次々と手話で質問が出され、大角先生がわかりやすく回答した。



23人が参加し歯周病の予防について楽しく学んだ

### 【参加者の声】

オーラルフィットネスの説明を聞いて勉強になったわ...。自分の歯が大切だと思っているから、いのちを考える会まで来てよかった!!